

いわき民報

発行所 電話381 176 1222
平市田町48
いわき民報社
編集人 甲田原登
印刷 甲田原登

針はオルガン
ミンシンはツガミ
月賦現金融資
鈴木ミシン商會
平市白旗町一〇九

諸橋候補第一聲 市長選挙本舞台へ

地方選挙戦は愈々中盤戦に入と選挙に大きな感銘を興えた
り各方面ともしを削る熱
宣傳戦は開戦されて来た、殊に注
目される平市長選挙は八日か
ら諸橋久太郎、鈴木辰三郎兩
候補が期せずして演説の皮
切りに行った。先ず諸橋は五
五五の演説演壇に上りて午
後七時から百の聴衆を前に
第一、第二諸橋候補は主要
左の如き意見を述べた。諸
橋は「昭和二十一年貴院院
員時代に、俸給を削減し、
たので、諸君も俸給を削減し
て、現在に於て健康を取り戻し
て、私共は中信用銀行理
事長、平商工會議所会頭と
して本市の経済界に微力を
盡して来た、今回計らずも
市民諸君の御推薦で市長選
挙に出馬したが、私の市政
心を心として、市民諸君の
心と心とを繋ぐの道に邁
進して立つた。明らかな市政
を立てたい。市民は幸福で
なければ市民の生活は幸福で
ない。」

市議立候補 (八日届出)



小野野秋 47歳 農業
飯田 山崎
中野 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎
山崎 山崎

阿部助役 突如辞職 跨線橋豫算を可決

問題となったが、八日六時選
任されたが、その代りに市
山崎建設局長となった、市
政はこゝに市長、助役の空位
状態を出現、選挙を自動注
目されるに至った。阿部助役
の退職は床中助の鈴木市長
代行中である。阿部助役は
候補の選挙運動のため

不夜城の美観 八分咲の松力岡公園

明日から繰り広げられる春
の「不夜城」に魅かれて今
年の頃は八分咲き、しつ
とりと夜つゆにぬれた花に
ボンボリの灯が美しく映えて
一層の情緒を添えている、四
百余のボンボリ、二百数十の
緑の松力岡公園は不夜城
の観を呈している(写真は松
力岡公園の夜景)

人出二万
昨八日は日曜日と晴天をに
か、例年より一週早く咲き
初め九日には七分咲きの見頃

平和亂暴力團に鐵槌 今曉二名逮捕 六名風を喰つて逃走

防衛局建設費は約二百
万円を要するに、昨
谷政府次官二名の視察で
救が本決りとなり地元直轄
金が五百万円を要する。三
百万円を追加した。この
支出は二十六年年度算定
資産税から充て、五月
十一日まで任期がある。平
阿部助役は公務放棄する
理由は何となく、阿部助役
が、突如、阿部助役一身上
一部会以外にいかなる
一と強硬、金品局長は阿部
議員意見に賛意を表明、結
局賛成が採原、阿部、阿部、
齊藤、小松、鈴木(政一)、
諸橋、木村(厚)、八代、
反田、柴田、酒井、野田、
國井、水竹、大塚、永野、
石山、永瀬、花崎、江尻、
在、六議員で承認となった。

女給青酸 カリ自殺

八日午後十一時、友好村北好
間無職江田高三、五十九
年、中央通り喫茶店女給中村
キミ子(一九)は、青酸カリを
飲んで自殺した。中村は江田
の家に同居していた。江田
田に以て身体的な虐待をほめて
いた。

廿八日に 小名濱町議選

小名濱町議選は九日
正午の六名(小名濱五名
飯田一名)で合計三十八名
△小名濱 飯田 山崎
花崎 小名濱 飯田 山崎
戸村 山崎
△飯田 山崎
△飯田 山崎

爆発で死亡

七日午後三時、江名町中之
修子屋洋行洋貨物店名義業所
修理工場修理工大友利治(二
〇)さんは同一場所作業中
爆発で死亡

赤垣

好評御禮 折詰 仕出し
新田町 電話292
江戸前生壽し

花長

花見時の折詰は特に
勉強致します
御用命の程を！
小料理 花長
天ぷら
平市新田町二一
電話二〇七一

春の呉服まつり協賛 優良服地大會

この品で この値段
仕立て大々たる信目
特 價 品
ギンガム...1ヤール...110圓
木綿縞...反...650圓
綿青梅夜具地...反本...630圓
花見手拭...本...65圓

東龍軒

お花見のお歸りには
ぜひ御来店下さい
中華料理 トンカツ
平中央通り 電話二二二六

仮装宣傳競技會

例年通り
坐ビールを
始めました
お花見のお歸りには
ぜひ御来店下さい
中華料理 トンカツ
平中央通り 電話二二二六

店頭裝飾競技會

審査日
四月十五日 午後一時より
表彰
一等賞 二名 各二千圓
副賞三名 各一千圓
二等賞 三名 各五百圓
三等賞 三名 各二百圓
四等賞 三名 各百圓
五等賞 三名 各五十圓

